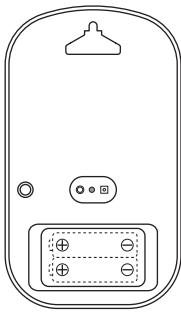


電波時計 取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

※本製品は日本標準電波仕様のため、電波修正機能は日本国内用になります。
海外で使用する場合は電波の自動受信をOFFにしてください。



ご使用上の注意

- 本製品は精密機械のため、静電気などにより誤作動することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- 海外でご使用の場合でも日本の電波を受信することがあります。その場合は自動受信をOFFにし、手動で時刻を合わせてください。

電波時計について

電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構 (NICT) が運用している電波です。
国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

- ・福島局：おおたかどや山標準電波送信所 (40kHz)
- ・九州局：はがね山標準電波送信所 (60kHz)

標準電波の送信停止について

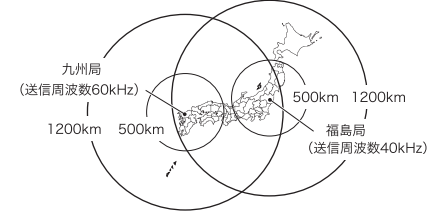
標準電波は、毎時15分と45分から各1分間は、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止 (停波) することがあります。
標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。
(<http://jit.nict.go.jp>)

海外でのご使用について

この時計は、日本の標準電波に対応しています。海外でご使用になるときは、電波の自動受信をOFFにして手動で時刻を合わせてください。
自動受信をONのままで使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1000km～1200kmです。受信しやすい電波を自動的に選択して受信します。
ただし受信範囲であっても、天候、設置場所、時計の向き、時間帯 (昼/夜)、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。



ご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓などに設置してください。電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- ・工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害が起きやすい所
- ・金属製の雨戸やブラインドの近く
- ・ビルの中、ビルの谷間、地下
- ・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
- ・朝夕の時間帯、雨天のとき
- ・テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
- ・スチール机など、金属製の家具の上や近く
- ・乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
- ・その他、電波ノイズを発生させるものの近く

安全上のご注意 はじめにお読みください

- 図記号の説明
- ⊘ は、禁止 (してはいけないこと) を示しています。
 - ⚠ は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ⊘ 幼児の手の届く所に設置、保管しない。
電池の誤飲や壁掛け用木ねじにより、けがをする恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- ⊘ 電池から漏れた液に触れない。
失明や炎症などの障害が発生する恐れがあります。目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- ⊘ 電池をショートさせない。
電池を分解しない。
電池に傷をつけない。
電池を充電しない。
電池を加熱しない。
電池を火の中に入れない。
- ⊘ 液漏れしたときは、素手で触らずゴム手袋をして電池を外してください。漏れた液を布や紙でよく拭き取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ⊘ 梱包用ポリ袋を絶対にかぶらない。
窒息する恐れがあります。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- ⊘ 電池は必ず⊖側から入れる。
⊕⊖を逆向きに入れない。
電池の液漏れや発熱、機械の故障、けがの原因になります。
- ⚠ 時計を使わないときは、電池を取り出す。
入れたままにすると、電池が液漏れを起こす恐れがあります。
- ⚠ 電池の液漏れや破裂を防ぐために、次のことをお守りください。
●時計が止まったときは、新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
- ⊘ 強い振動や落下など衝撃を与えない。
故障や破損の原因になります。
- ⊘ めれた手で触らない。
さびや故障の原因になります。
- ⊘ 分解や改造をしない。
けがや故障の原因になります。
- ⊘ 表面を強くこすらない。
漂白剤や洗剤、化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、各種ブラシを使用しないでください。また殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。
- ⊘ 下記のような場所では使わない。
性能の低下や部材の変形、変質、劣化、故障の原因になります。
 - 温度が50℃以上の所や長時間直射日光が当たる所。(例) 屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
 - 冷暖房器具の送風が直接当たる所。
 - 温度が-10℃以下の所。(プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。)
 - 浴室やサウナ、岩盤浴、温泉など、高温・高湿になる所。(さびや故障の原因になります。)
 - ほこりが多く発生する所。(空気中のちり等が機械部にたまって時計が止まる場合があります。)
 - テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 - プール、温泉場などガスの発生する所。
 - 調理場などの多くの油を使用する所。(霧状になった油分が時計のケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
 - ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れる所。(色移りや付着、変質をすることがあります。)
 - 温度や湿度の変化が激しい所。寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。
 - 非常に乾燥した状態や多湿な状態が長く続く所。
- ⚠ 壁の材質・構造と時計の質量に合った掛け具をご使用ください。
掛け方が不適切な場合、時計が落下する恐れがあります。

封入物についての説明 ご使用前にご確認ください

- 取扱説明書 [保証書付き]: 1枚 (本書)
- 単3形アルカリ乾電池: 2個 (モニター用)
- 木ねじ: 1本 (木の柱・厚い木の壁専用)

※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池 (お試用電池) です。
お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

製品仕様 改良のため、予告なく変更する場合があります

使用環境 温湿度: -10～50℃、85%RH以下 *結露しないこと
時間精度: 平均月差±20秒
(気度が5～35℃で使用した場合、且つ電波受信による時刻修正を行わない場合)
電池仕様: 単3形アルカリ乾電池 [sizeAA/1.5V/LR6] 使用数 2個
電池寿命: 約1年
電波受信機能: 自動受信… 毎日午前2時、以後3時間ごとに受信 (受信から次の受信まではクオーツの精度で動作)
手動受信… ボタン操作による
2つの電波 (40kHz/60kHz) のうち最適な方を選択して受信
受信結果確認機能: ボタン操作により、LEDランプで表示
時刻合わせ機能: 電波受信による自動セット、または手動セット
防水防塵機能: なし

※指針 (針の表示) 誤差について: 構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。
※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

電池について 正しく使って事故を無くしましょう

注意

- ⚠ 電池の液漏れや破裂を防ぐために、次のことをお守りください。
 - 時計が止まったときは、新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 動いていても1年に1回定期的に交換する。

電池の種類について

- 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に作動しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

電池の寿命について

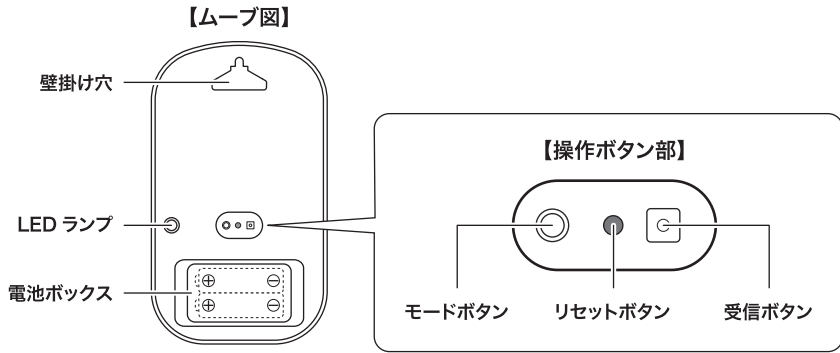
- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、その保管状態により、乾電池に示されている「使用推奨期限」よりも電池寿命が短くなる場合があります。

電池・製品の廃棄について

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と本体を分別して廃棄してください。

時計の使い方

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



①電池を入れる

単3形アルカリ乾電池2個を電池ボックスに⊖側から入れます。

注意 新しい電池と交換する際は、2本同時に交換してください。

禁止 電池は必ず⊖側から入れる。⊕⊖を逆向きに入れない。
電池の液漏れや発熱、機械の故障、けがの原因になります。

充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に作動しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

②●リセットボタンを押す【※電池の交換後は必ず押すこと】

(※一度電池を外し、再投入した場合も含む)

リセットボタンは先の細いもので押してください。
下記の時刻のいずれかで一時停止し、電波の受信を開始します。
(待機時刻：4時00分、8時00分、12時00分)
受信に必要な時間は最長 約20分です。

③電波受信の結果

○ 受信に成功した場合

自動で時計と分針が現在の時刻に調整されます。
時計を掛ける。→参照 **時計の掛け方**

× 受信ができなかった場合

針の一時停止が解除され、待機時刻から動き始めます。

□ 受信に失敗しても、一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できることがあります。

受信結果の確認方法

通常のご使用中に□(受信ボタン)を1回押すと、以下のよう
LEDランプが点滅します。

ゆっくりと点滅：過去24時間以内に受信に成功しています。

早く点滅：過去24時間以内に、一度も受信できていません。

(※LEDランプの点滅は数秒間続きます。)

電波を受信できなかった場合

④手動で電波を受信して時刻を合わせる

- 電波状況の良い窓際などへ移動する。
- (受信ボタン)を長く押し(約2秒)。LEDランプが点灯するまで押し続けます。しばらくすると受信を開始します。
時計を掛ける。→参照 **時計の掛け方**

受信できなかった場合は、場所を変えて、もう一度受信させてください。

⑤手動で時刻を合わせる(電波を受信できない場合)

- (モードボタン)を長く押し(2秒以上)
- (受信ボタン)を1回押すごとに、分針が1分進みます。
ボタンを押し続けると、ボタンを離すまで分針が進み続けます。
- (モードボタン)を押すと同時に、通常運針を始めます。
5分以上ボタンを操作しない場合は、自動的に動き出します。

電波の自動受信について

毎日、午前2時に自動で電波を受信します。
以後は3時間ごとに電波の受信を繰り返します。(1日8回)
この場合、分針は約30秒ごとに動作することがありますが、故障ではありません。

電波の自動受信のON/OFF操作

⑥以下で使用する場合は、電波の自動受信をOFFにする

(※①～③の操作が必要です。ボタン操作は電波受信や時刻修正の動作終了後になります)

- 海外で使用する場合
- 意図的に時刻をずらして使用する場合
- 誤受信しやすい所で使用する場合

□(受信ボタン)を長く押し(約7秒以上)、LEDランプが点灯しても、そのまま押し続けます。LEDランプが素早く点滅し(1秒間)、自動受信が止まったことをお知らせします。手動で時刻を合わせてください。→⑤へ

電波の自動受信をOFFにしても手動受信(④)を実施すると、電波の受信を再開します。その後、自動受信は行わず、クォーツの精度で動作します。

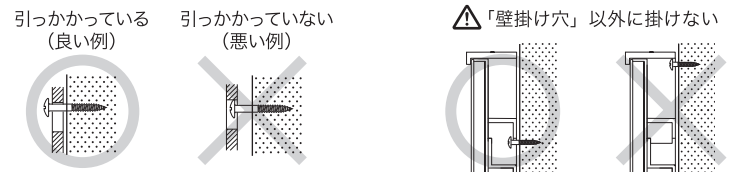
⑦自動受信を再開する(ONにする)

- (リセットボタン)を押してください。

時計の掛け方

時計の使用場所は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。
裏面の**安全上のご注意**と**電波を受信しにくい環境**に従って正しく掛けてください。

- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 時計を掛けた際、時計を上下、左右、そして手前に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具がしっかり掛かっていることを確認してください。



木の柱や厚い木の壁に掛ける場合

- 付属の木ねじは、木の柱または厚い木の壁専用の掛け具です。
- 木ねじを垂直に、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面に掛ける場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の質量に合った、市販の掛け具をご使用ください。
その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

お手入れについて

- 静電気により時計や壁が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。
- 汚れを落とすときは、乾いた柔らかい布でかぶきしてください。汚れが落ちにくいときは、水分をしっかりと切った柔らかい布で拭き取ってください。その後に水分が残らないように乾いた布でよく拭き取ってください。

注意 誤った方法でお手入れをすると表面の色艶が変化したり、色落ちしたり、傷が付く恐れがあります。次のことをご守りください。

禁止 表面を強くこすらない。

禁止 漂白剤や洗剤、化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類、各種ブラシを使用しないでください。また殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。

故障かな?と思った時は

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。
なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
針が動かない	電池が入っていない 電池が正しい向きに入っていない	新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。
	電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている	電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れた後、電池を2~3回転させてください。
	誤作動している (静電気などで起こる場合がある)	リセットボタンを押してください。
針が不規則に動く	電波の受信中、または時刻修正中である	受信終了後、通常の動作に戻ります。
ボタンの操作が効かない	リセット後の、電波の受信中である 電波の受信に成功し、時刻の修正中である	電波受信や時刻修正の動作が終了してから、再度ボタンを操作してください。
時刻が合っていない	電波の受信が成功していない	『電波を受信できなかった場合』を参照し、再度受信させてください。
	電池の容量が少なくなっている きちんとリセットされていない	新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 リセットボタンを確実に押してください。
秒針だけが止まっている	電波の受信中は秒針だけが止まる場合があります。	受信終了後、通常の動作に戻ります。
	電池切れを予告している(電池の容量が少なくなると、秒針が「12時の位置」で停止します。)	新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。